



平成24年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年9月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アスカネット

コード番号 2438 URL <http://www.asukanet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO

(氏名) 福田 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO

(氏名) 功野 顕也

TEL 082-850-1200

四半期報告書提出予定日 平成23年9月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第1四半期の業績(平成23年5月1日～平成23年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第1四半期	1,059	△0.2	175	△3.2	173	△2.1	95	△6.4
23年4月期第1四半期	1,061	△3.9	180	23.9	177	20.8	101	20.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第1四半期	2,277.49	—
23年4月期第1四半期	2,381.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年4月期第1四半期	3,297	2,708	81.8	64,442.23
23年4月期	3,401	2,693	78.9	64,084.66

(参考) 自己資本 24年4月期第1四半期 2,697百万円 23年4月期 2,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	1,900.00	1,900.00
24年4月期	—	—	—	—	—
24年4月期(予想)	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,020	△3.6	160	△46.2	160	△46.3	84	△51.1	2,013.09
通期	4,460	△0.8	550	△25.1	550	△24.9	310	△24.7	7,407.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年4月期1Q	43,660 株	23年4月期	43,660 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年4月期1Q	1,794 株	23年4月期	1,794 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期1Q	41,866 株	23年4月期1Q	42,782 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因によって、予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、本年3月11日に発生しました東日本大震災による甚大な被害に加え、原発事故による風評被害や電力供給の制約等により、先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く環境につきましても、震災による自粛ムードや消費の冷え込みにより、婚礼市場や一般消費者市場におきましては、厳しい状況が継続しております。

このような状況の中、当社はフューネラル(葬祭)市場に対する遺影写真等画像映像のデジタル加工、通信出力を主体としたメモリアルデザインサービス事業と、デジタル写真とオンデマンド印刷の融合を目指し、一般消費者からプロフェッショナル写真家までをターゲットに個人向け写真集の作成、販売を主体としたパーソナルパブリッシングサービス事業を中心として、一つ一つカスタマイズされたモノ創りにこだわって展開してまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,059,900千円(前年同四半期比99.8%)となり、費用面におきましては、材料費や製造設備関連の減価償却費は減少したものの、エアリアルイメージング事業の研究開発費等が増加したため、経常利益は173,685千円(前年同四半期比97.9%)、四半期純利益は95,349千円(前年同四半期比93.6%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(メモリアルデザインサービス事業)

メモリアルデザインサービス事業におきましては、引き続き画像処理の高い技術力や充実した自社サポート体制を強調した顧客開拓を進め、新規顧客を獲得するとともに、動画を用いた葬儀演出ツールやカラー額などの販売に力を注いでまいりました。その結果、全般的に順調に推移し、当第1四半期累計期間の売上高は479,277千円(前年同四半期比107.6%)、セグメント利益は160,152千円(同107.6%)となりました。

(パーソナルパブリッシングサービス事業)

パーソナルパブリッシングサービス事業におきましては、自社営業による新規顧客開拓や、インターネットを中心とした広告宣伝の実施により、業務拡大を図ってまいりました。国内業務向け市場は安定した受注をいただいておりますものの、厳しい経済情勢を背景に、海外市場および国内一般消費者市場は伸び悩みました。一方、利益面につきましては、材料費、製造経費等の抑制に努め、粗利率が上昇しました。その結果、当第1四半期累計期間の売上高は580,623千円(前年同四半期比94.2%)、セグメント利益は118,874千円(同104.4%)となりました。

(エアリアルイメージング事業)

エアリアルイメージング事業におきましては、空中結像技術の更なる研究、コンベンション参加のための準備を中心に行ってまいりました。その結果、当第1四半期累計期間に売上高の計上はなく、セグメント損失は17,481千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ103,825千円減少し、3,297,759千円となりました。これは主に、現金及び預金が46,548千円、有形固定資産が23,727千円減少したことによるものであります。当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度に比べ118,795千円減少し、589,034千円となりました。これは主に、未払法人税等が108,637千円、賞与引当金が57,100千円減少したことによるものであります。当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度に比べ14,970千円増加し、2,708,725千円となりました。これは主に、剰余金の配当として79,545千円計上した一方、四半期純利益を95,349千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年6月10日に発表いたしました平成24年4月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,144,449	1,097,900
受取手形及び売掛金	523,599	502,581
商品及び製品	92,935	78,942
原材料	45,754	45,188
仕掛品	8,892	10,844
その他	89,857	88,511
貸倒引当金	△7,532	△7,950
流動資産合計	1,897,957	1,816,019
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	483,393	482,029
土地	370,758	370,758
その他(純額)	203,910	181,546
有形固定資産合計	1,058,062	1,034,334
無形固定資産	255,658	258,174
投資その他の資産	189,905	189,230
固定資産合計	1,503,627	1,481,740
資産合計	3,401,584	3,297,759
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,129	83,187
未払法人税等	178,000	69,363
賞与引当金	110,300	53,200
その他	251,887	309,095
流動負債合計	617,316	514,845
固定負債		
長期借入金	77,723	60,473
退職給付引当金	12,789	13,715
固定負債合計	90,512	74,188
負債合計	707,829	589,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	1,709,764	1,725,568
自己株式	△122,549	△122,549
株主資本合計	2,684,100	2,699,904
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,131	△1,965
評価・換算差額等合計	△1,131	△1,965
新株予約権	10,787	10,787
純資産合計	2,693,755	2,708,725
負債純資産合計	3,401,584	3,297,759

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
売上高	1,061,689	1,059,900
売上原価	506,804	490,705
売上総利益	554,884	569,195
販売費及び一般管理費	374,140	394,178
営業利益	180,743	175,017
営業外収益		
受取利息	88	70
受取配当金	250	250
受取手数料	274	164
その他	68	16
営業外収益合計	681	501
営業外費用		
支払利息	881	551
為替差損	3,169	1,269
その他	18	12
営業外費用合計	4,069	1,833
経常利益	177,355	173,685
特別損失		
固定資産売却損	—	499
固定資産除却損	1,401	9,965
特別損失合計	1,401	10,464
税引前四半期純利益	175,953	163,220
法人税等	74,080	67,871
四半期純利益	101,873	95,349

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	445,374	616,314	1,061,689	—	1,061,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	445,374	616,314	1,061,689	—	1,061,689
セグメント利益	148,831	113,812	262,643	△81,899	180,743

(注) 1 セグメント利益の調整額△81,899千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに
帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	479,277	580,623	—	1,059,900	—	1,059,900
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	479,277	580,623	—	1,059,900	—	1,059,900
セグメント利益又は損失 (△)	160,152	118,874	△17,481	261,544	△86,526	175,017

(注) 1 セグメント利益の調整額△86,526千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに
帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

3 エアリアルイメージング事業は、平成23年3月から開始した事業であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。